



北方地区地域連携組織設立準備委員会では、地域で暮らす人々が中心となり、地域生活課題の好転・改善・解決に向けた取り組みをするための仕組みづくりを進めています。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、会議や活動が制限され、計画通りに進めることができませんでした。

今年度に取り組む主な内容として、令和4年度に「北方地区地域連携組織（仮称）」の設立を目指し、柱となる目標を具体的に設定するほか、新組織の体制づくりや今後の事業の検討、各種団体をはじめとする地域住民への組織の浸透を目的とした取り組みを行うなど、計画しております。

令和3年度の役員をご紹介します

令和2年度まで、自治会をはじめとする多くの関係団体に委員としてご参加いただきましたが、ウィズコロナ・アフターコロナのなか当委員会を運営していくため、委員会の組織構成を見直し、各種団体との連携を深めることで地域の実情に即した意見を今後の取り組みに反映させるなど、柔軟性を持って迅速に対応していきます。



【会長】 有嶋 由紀夫

会長の有嶋です。昨年度は、声掛け運動など計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大で思うように活動できませんでした。今年度は、各種団体からの意見を聴きながら、防災や声掛け運動などの柱となる目標から、幅広い分野で目標に向かって協力して活動していきたいです。

【副会長】

鈴木 亨 中村 誠

【運営委員】

井手 徳康 久保野 登
日高 善次 築瀬 隆一
清水 芳郎（北方地区会長）

【監事】

武田 孝行 古屋 修市

各種団体の皆さんと連携して、様々な課題について協議をしていきます。

令和3年度に取り組む主な活動

運営委員会

これまでの活動の中で「声掛け（あいさつ）」や「防災（避難場所）」等が課題としてあげられていますが、この他にも地域課題や北方地区の魅力、資源、ポテンシャルをさらに追及し、北方地区の柱となる課題の選定をします。

地域への説明・意見収集・広報活動

地域連携組織の浸透を図るため、北方地区の現状、地域連携組織の必要性等について、啓発活動や説明会を行っていきます。また、今後の活動計画に反映させるため、意見収集の場として、「きたかた井戸端会議」の開催やアンケート等の実施、北方地区のキャッチフレーズを募集します。広報活動として、機関紙の発行（不定期発行）やキャッチフレーズ決定後、のぼりを設置いたします。

令和3年度予算について

令和3年度の予算は、272,500円（市補助金250,000円、繰越金22,500円）となっています。上記の活動以外にも、会議や研修に係る経費、視察研修に係る旅費、事務用品やコロナ対策で必要な消耗品の購入等の支出を予定しています。

よかバスの運行ダイヤが改正されます！

4月24日（土）に「道の駅 くしま」がオープンします。それに伴い、よかバスの運行ダイヤが改正され、「道の駅 くしま」が起点となってさらに利便性が向上します。ただし、始発（1便目）は、通院等のため、これまで通り市民病院までの直通です。

詳しくは、串間市役所ホームページ、市役所に設置されている時刻表でご確認ください。

【集落支援員より一言】

北方地区地域連携組織設立準備委員会事務局を担当いたします、集落支援員の立本薫（たてもとかおり）です。平成30年度より地域コミュニティに関する啓発活動をはじめ、各地区に地域連携組織を推進するための活動支援を行っています。

これまでの活動を生かし、学びを深めながら、一人でも多くの人と出会い、人と人、人とモノ、人とコトとをつなぎ、茶話会「きたかた井戸端会議」も開催する予定です。北方地区の皆さんにお会いできる日が、とても楽しみです。皆さんのお近くを通りましたら、お気軽にお声がけください。どうぞよろしくお願い致します。

【お問合せ先】

北方地区地域連携組織設立準備委員会事務局（市役所・総合政策課内）



担当：立本 薫（たてもと かおり）

電話：55-1153（8:30～16:30）